

令和3年度 1学期始業式あいさつ

2, 3年生の皆さん、おはようございます。

今日から7名の新しい先生方、午後からは76期生360名を迎えて、四條畷高校の令和3年度がスタートします。皆さんも、新しい学年、新しいクラスということで、気持ちを新たにしていることと思います。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で本当に大変な1年でした。思うようにいかないことも多々ありました。この春休みに、軽音部の皆さんを中心に畷高祭の第三芸能のステージを組み立てている様子を見て、今年度は少しでも通常の学校生活に戻れたらと切に願いました。ただ、皆さんも知っての通り、大阪府では再び新規感染者数が急増しています。府立学校では、それに比例するかのよう3月中旬以降、臨時休業が増加し、部活動を契機として感染が広がったと思われるクラスター発生事例も複数報告されています。今後も、分散登校や短縮授業は行わず、1教室40人を基本とした通常形態での教育活動を継続していきますが、手洗いや手指消毒、マスクの着用、特に食事に関しては、食事の前後に手洗いを徹底する、机を向かい合わせにして食事をしない、食事の会話を避ける、食事後には必ずマスクを着用するなど、感染症対策を一層徹底してください。皆さんで協力して、一人一人の大切な命と学校生活を守っていきましょう。よろしくお祈りします。

では、まずこの春に卒業した73期生の進路結果についてです。コロナ禍で非常に厳しい状況の中、73期生は本当によく頑張りました。詳しい説明は、後で進路指導部長の藤板先生からありますが、最後まであきらめずに、自分ができるところに最善を尽くしてくれました。まさしく「一隅を照らす」という精神を実践してくれたように思います。

3年生の皆さんは、部活動、畷高祭、受験と、いよいよ高校生活の最終ステージを迎えました。受験では、学力も鍛えられますが、これからの長い人生という観点で見た場合、最も鍛えられるのは自己管理能力ではないかと思えます。学習をコントロールする。時間をコントロールする。自分のメンタルをコントロールする。自己管理能力を高めることは3年生だけではなく、2年生の皆さんにとっても重要なことです。大切なのは継続です。短期的な成果に一喜一憂することなく、自分をコントロールして、弱点を克服できるように努力を続けてください。

今日は、先日、新聞を読んでいて興味を持った話を紹介したいと思います。それは、先月初めの記事で、世界貿易機関（WTO）トップの事務局長に初めてアフリカ出身の女性が就任したという話です。名前はネコジ・オコンジョイウェアラさん。ナイジェリア出身です。世界銀行のエコノミストとして途上国の開発に携わり、ナイジェリアの財務大臣を2度務めました。財務大臣時代には、政府の補助金が絡む石油利権と戦って母親が誘拐され、辞任を要求されたという経験をしています。しかし、決して犯人の要求に屈せず、自分の信念を貫き通しました。犯人は諦め、母親は自力で脱出したそうです。また、今回の事務局長の就任に関しても、一部の国の反対などで約半年間選出が遅れました。

そんな波乱万丈の人生に関して、ネコジ・オコンジョイウェアラさんは、「人生はそんなもの。誠実さと勇気を持ち、結果に妥協しなければ、やり遂げられる。何が起きても、自分の歩幅で前に進むしかない」と述べています。

この言葉は、コロナ禍の現在にあって、私たちに大切なことを示唆してくれているように思います。今まで当たり前であった日常が当たり前でなくなる。しかし、何があっても、結果に妥協することなく、自分の信念を崩さずやり遂げる。自分自身を信じて前に進む。皆さん、今年度も、何があっても、授業や部活動、行事を大切に、自分を信じ

て、仲間を信じて、自分の歩幅で前に進んでください。期待しています。

最後に、皆さんにお願いがあります。

個人情報や肖像権に関することです。皆さんも知っての通り、本校は大阪府からGLHS、文科省からSSHの指定を受けており、課題研究の各種発表や部活動、行事などの様子を、記録用保存資料として写真やビデオで撮影して、それらを学校案内リーフレットや研究実施報告書、ホームページなどに掲載しています。今年度も個人情報や肖像権などに配慮しながら掲載させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上で、始業式のあいさつを終わります。

校長 稲葉 剛